

### 第3章 環境の保全・創造に向けた取組み

#### 環境目標1 地球の未来を考え実践するまち

##### 基本施策① 地球温暖化防止への貢献（山口市地球温暖化対策地域推進計画）

地球の大気中に含まれる二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ ）やメタン（ $\text{CH}_4$ ）などの温室効果ガス濃度の上昇によって、地球全体の平均気温が上昇する現象が「地球温暖化」です。

このまま地球温暖化が進行すると、洪水や干ばつなどの自然災害の増加、海面上昇による国土の水没、砂漠化の進行などの様々な影響があると考えられます。

この「地球温暖化」を防止するため、市の特性や地域資源、社会状況を踏まえ、温室効果ガス削減の取組みを実施する「山口市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、本市における温室効果ガス排出量の削減目標を定めました。

また、目標値の設定については、市民や事業者に分かりやすいものとするため、本市で増加率の高い民生部門（業務・家庭）、運輸部門において、従業員1人あたり、1世帯あたり、自動車1台あたりという単位あたりの数値を用いました。

この削減目標を達成するため、市民、事業者、民間の団体との連携・協働による地球温暖化対策を推進しています。

##### ★温室効果ガス排出量の削減目標

本市における平成29年（2017年）度の温室効果ガス排出量の削減目標は、次のとおりです。ただし、対象とする温室効果ガスは、全体の約98%を占める二酸化炭素のみとします。

##### 【総量目標】

平成29年（2017年）度における二酸化炭素排出量を平成2年（1990年）度比で

**2%以上削減**することをめざします。

（＝平成16年（2004年）度比で25%以上削減）

## 【部門別目標】

### 【民生業務部門】

- 平成29年(2017年)度における従業員1人あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**46%以上削減**することをめざします。  
(= 平成2年(1990年)度比で29%以上削減)

### 【民生家庭部門】

- 平成29年(2017年)度における1世帯あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**43%以上削減**することをめざします。  
(= 平成2年(1990年)度比で28%以上削減)

### 【運輸部門】

- 平成29年(2017年)度における自動車1台あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**30%以上削減**することをめざします。  
(= 平成2年(1990年)度比で31%以上削減)

山口市役所においては、国際規格であるISO14001の認証を平成20年度に取得し、環境マネジメントシステムの運用及び「山口市地球温暖化防止行動計画」により、エネルギー使用量の削減に取り組んでいるところです。要請に基づき、全施設において5%以上の節電目標（事務室部分については、努力目標として15%以上の削減）を掲げ、意欲的に削減可能な取組みを実践しました結果、目標の5%削減を達成したところです（実績値6.9%）。

## ◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
市域から排出される二酸化炭素排出量	千t-CO <sub>2</sub>	H16	1,909.6	H21	2,044.1	H22	1,882.8	↑	H24	1,690.7	H29	1,501.8
★1世帯のマイカーに係る二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	H18	1,866.5	H23	2,027.8	H24	1,906.1	↑	H24	1,461.7	H29	1,194.0
温暖化防止を意識して生活している市民の割合	%	H19	64.8	H23	74.0	H24	73.8	→	H24	67.4	H29	70.0
★ISO14001、エコアクション21、グリーン経営認証などを取得している事業所数（累計）	件	H19	32	H23	64	H24	66	→	H24	43	H29	56
★住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）	件	H19	1,047	H23	494 (2,373)	H24	331 (2,704)	↓	H24	1,400	H29	2,000
コミュニティ交通の年間延べ利用者数（コミュニティバス）	人	H19	166,625	H23	166,481	H24	146,343	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数（累計）	人	H19	—	H23	51(147)	H24	57(204)	↑	H24	180	H29	405
人工林の間伐面積	ha	H19	438.53	H23	1,016.74	H24	1,191.93	→	H24	1,226.94	H29	1,226.94

## 【評価（数値目標の達成状況等）】

「市域から排出される二酸化炭素排出量」及び「1世帯のマイカーに係る二酸化炭素排出量」については、昨年度と比較すると成果が表れていますが、中間年度の数値目標の達成には至っていません。

「温暖化防止を意識して生活している市民の割合」については、引き続き最終年度の数値目標を上回る、高い水準を維持しています。今後も引き続き、山口市地球温暖化対策地域協議会（温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち）との連携、協働のもと、温暖化防止に資する有効な手法を検討するとともに、環境に関する講演会や出前講座を開催することで、更なる成果の向上を目指します。

「住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）」については、引き続き件数を伸ばし、最終年度の数値目標を上回っていて、一定の効果を挙げています。

「エコドライブ講習会受講者数（累計）」については、中間年度の数値目標を達成しました。

また、その他指標につきましても、最終年度の目標達成に向け、引き続き施策の検討・実施に取り組めます。

## 【主な取組状況（平成24年度）】

主要施策	(1) 共通的施策
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 山口市地球温暖化対策地域協議会との連携・協働（環境政策課）	
<p>『温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち』</p> <p>平成20年8月18日に、地球温暖化防止に向け、日常生活での温室効果ガス排出の抑制策などを協議し、活動することを目標に「地球温暖化対策の推進に関する法律」第26条第1項の規定に基づいて、市民・事業者・学術研究機関・民間団体・行政が構成員となり、設立されたものです。</p>	
1 温室効果ガスの効果的削減の推進	
(1) 環境家計簿の普及促進 <b>重点プロジェクト</b>	
①協議会との協働で作成した、環境家計簿「我が家の環境カレンダー」リーフレット版・エクセル版の普及啓発（イベントでの配布、市報・ホームページによる広報活動）	
②小学校4年生以上を対象とした、エコ学習カレンダーの編集、作成（1,000部）	

(2) 緑のカーテンの普及啓発

青空天国いこいの広場ブース来場者への育て方リーフレット配布。(5月5日/維新公園)

●市民向け設置講習会の実施

5月24日/湯田地域交流センター 【参加者数】 38名

6月3日/小郡地域交流センター 【参加者数】 100名

●緑のカーテンコンテスト開催および審査会実施。

【申込数】 家庭部門：21点 事業所部門：9点 学校部門：9点

(23年度実績 家庭部門：36点 事業所部門：15点 学校部門：18点)

【審査会】幹事会で実施(9月11日/湯田地域交流センター)

**最優秀賞** 各部門1点、**優秀賞** 各部門2点、

**特別賞** 家庭部門1点、事業所部門1点

●アンケートの実施、公表。

山口大学農学部と協働して、緑のカーテンの取組みに関するアンケート調査を実施し、協議会ホームページに調査結果を公開しました。

(3) ノーマイカーの促進

県内・市内ノーマイカーデーへの参加協力(県内10月19日、市内3月1日)

山口市公共交通ふれあいフェスタへ参加(2月24日)

(4) カーボンオフセットの推進

青空天国いこいの広場でのカーボンオフセット実施(100円募金方式)。

**青空天国**(5月5日/維新公園)

【募金総額】3,160円 【オフセット量】1t-CO<sub>2</sub>

(有)雙津峡開発における木質ペレットを燃料とするボイラーの運用事業

(5) 省エネ電球等の普及促進対策 **H24主要施策**

山口市LED照明取り替え促進キャンペーンの実施

(6) 新たな取り組みに向けての調査研究

先進事例視察研修(2月2日)

【訪問先】きなり村(バイオマス研究施設、循環型農園施設)

【参加人数】会員及び事務局員 9名

## 2 地球温暖化対策の普及啓発の推進

(1) 家庭における地球温暖化防止活動診断の実施

地球温暖化防止活動診断を受診(調査研究部会員)

(2) 省エネ住宅等の普及啓発

山口県地球温暖化防止活動センターとの連携により、啓発用パンフレットを配布

(3) イベント出展による普及啓発

①青空天国いこいの広場(5月5日/維新公園)

内容：エアロバイク発電、手回し発電、紙芝居、ぬりえ、子ども向けアンケート  
カーボンオフセット、緑のカーテンパネル展

②親子ふれあいジャンボリー(8月25日/維新公園アリーナ)

内容：エアロバイク発電、手回し発電、エコかるた、エコすごろく、環境カードゲーム

- ③やまぐちエコパークまつり（10月14日／リサイクルプラザ）  
内容：ソーラーカー製作体験、電気自動車で作ったポップコーン配布
- ④公共交通ふれあいフェスタ（2月24日／山口市中央公園）  
内容：エアロバイク発電、手回し発電、風力発電、環境クイズラリー、  
電気自動車で作ったポップコーン配布

(4) 広報活動の充実

- 環境川柳コンテストの開催（募集期間 11月15日～12月21日）  
環境川柳の募集を行い、ホームページで優秀作品を公表しました。  
【申込数】25名、51作品  
【審査会】幹事会で実施（1月16日／湯田地域交流センター）

最優秀賞 1点 / 優秀賞 2点 / 特別賞 2点

- ホームページリニューアル

3 地球温暖化対策に関する学習・教育活動の推進

(1) 子どもを対象とした環境学習イベントの開催

- ①青空天国いこいの広場（5月5日／維新公園）
- ②親子ふれあいジャンボリー（8月25日／維新公園アリーナ）
- ③やまぐちエコパークまつり（10月14日／リサイクルプラザ）
- ④公共交通ふれあいフェスタ（2月24日／山口市中央公園）

(2) 環境学習の効果的な推進方策の実施及び検討

環境学習出前講座の実施

各種団体からの申し込みにより、環境学習出前講座を実施しました。

【実施状況】24講座実施、858名参加（23年度実績：23講座実施、744名参加）

実施日	講座名	申込団体	人数
6月3日	自然薯山芋のグリーンカーテン	おごおり地域づくり協議会	100
6月30日	あなたの食べ方、地球を救う	阿東地域交流センター	26
7月24日	食品トレーでリメイク工作	はちのこ学級	30
7月25日	竹笛（楽器カズー）づくり	まなび学級	37
7月26日	ペットボトルで風力自動車づくり	山口児童館	32
7月30日	ネイチャーゲームで地球温暖化を考えよう	なかよし学級	49
7月31日	エコラベルでビンゴ	うえき学級	24
7月31日	牛乳パックで帽子づくり	小郡地域交流センター	40
8月2日	暮らしの中のリユース・リメイク	みなみ第2学級	30
8月6日	エコかるた 楽しみながら 環境学習	うえき第2学級	46
8月7日	食品トレーでリメイク工作	しらさぎ第2学級	30
8月8日	竹笛（楽器カズー）づくり	うえき学級	26
8月8日	食品トレーでリメイク工作	しらさぎ学級	28
8月10日	自然とふれあうネイチャーゲーム体験	おひさまクラブ2	30

8月16日	エコラベルでビンゴ	ひまわり学級	20
8月17日	牛乳パックで帽子づくり	はちのこ第2学級	21
8月20日	自然とふれあうネイチャーゲーム体験	おひさまクラブ1	30
8月21日	エコかるた 楽しみながら 環境学習	みなみ第2学級	35
8月24日	エコかるた 楽しみながら 環境学習	うえき学級	40
8月30日	牛乳パックで帽子づくり	まなび学級	39
9月7日	竹笛（楽器カズー）づくり	小鯖小PTA	42
10月22日	ネイチャーゲームで地球温暖化を考えよう	YYよしきっ子クラブ	28
11月5日	地球温暖化ってなに？	徳佐小学校	15
11月17日	エコクラフト親方工房	小郡小PTA	60

#### 環境学習自主講座の開催

エコクッキング（8月7日／山口合同ガス） 【参加人数】8名

#### 講演会、セミナーの開催

講演会「世界のエネルギー情勢と日本の未来」（12月2日／山口大学農学部）

【講師】財団法人日本エネルギー経済研究所

主任研究員 松尾 雄司 氏

【参加者数】38名

#### 4 その他

(1) 市、県等が行う活動への参加・協力

- ①家庭や職場における緑のカーテンの設置（5～8月）
- ②県内・市内ノーマイカーデーへの協力（県内10月19日、市内3月1日）
- ③市・JAF共催のエコドライブ講習会への参加（6／26小郡自校、10／31綜合自校）
- ④県内一斉ライトダウンキャンペーンへの参加・協力
- ⑤市LED照明普及促進キャンペーンへの協力（LED電球交付実績 413件）

(2) 会員の拡大

個人会員、団体会員の加入を促進するため、イベント参加時等に広報を行いました。

平成25年4月1日時点 団体会員 19団体 個人会員 52名

平成24年4月1日時点 団体会員 15団体 個人会員 45名

《新規団体会員》

小郡自動車学校、大村印刷株式会社山口営業所、山口南安全運転管理者協議会  
シマダ株式会社

(3) 県内他市の温暖化対策地域協議会との連携・協働事業の実施

宇部市地球温暖化対策ネットワークと連携したソーラーカー製作講座の実施

イ 地球温暖化防止キャンペーンの周知・徹底（環境政策課）

12月の地球温暖化防止月間に、地球温暖化対策などの環境問題とエネルギーに関する講演会を開催しました。

日時：平成24年12月2日（日）

内容：「世界のエネルギー情勢と日本の未来」

講師：松尾 雄司 氏（財団法人 日本エネルギー経済研究所主任研究員）

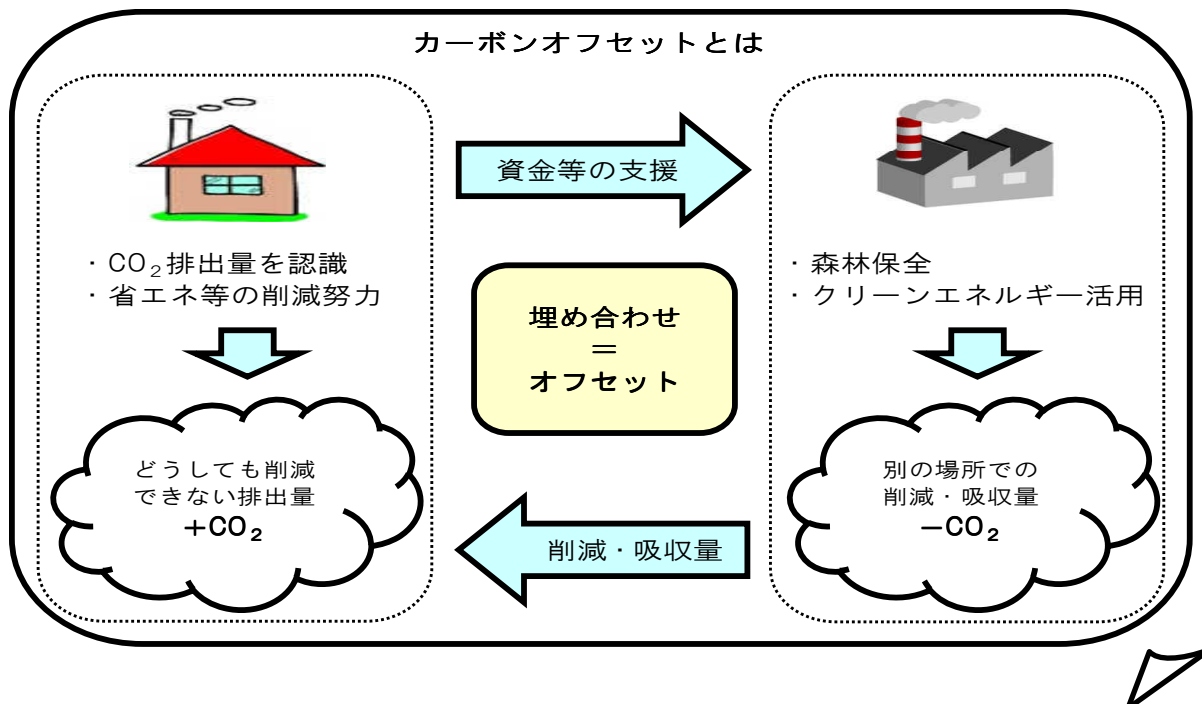
【参加者数】38名

ウ カーボンオフセットの取組み促進（環境政策課） **重点プロジェクト**

5月5日の青空天国いこいの広場において、開催に伴う電気・ガスの使用、来場者の自動車使用によるCO<sub>2</sub>排出量を算定し、来場者からの募金方式によりオフセットしました。山口エコ市場でクレジット購入し、募金行動は、「とめるっちゃ会員」が行いました。

【カーボンオフセットとは？】

自らが排出する温室効果ガスのうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所でのCO<sub>2</sub>排出削減量や、森林等による吸収量（クレジット）を購入して、埋め合わせ（オフセット）することをいいます。



エ 環境マネジメントシステムの普及促進（環境政策課） **重点プロジェクト**

《ISO14001、エコアクション21、グリーン経営認証取得事業所数（累計）》

項目	年度		
	H22	H23	H24
ISO14001	45	48	48
エコアクション21	6	5	6
グリーン経営認証	9	11	12
合計	60	64	66

※ISO14001はJAB日本適合性認定協会、エコアクション21はエコアクション21中央事務局、グリーン経営認証は国土交通省中国運輸局ホームページから取得。

オ 市役所の率先行動（環境政策課）

市では、温室効果ガス排出量の削減のため、市の施設等を対象として「山口市地球温暖化防止行動計画」により、平成24年度末までに、平成21年度比で3%以上削減することを目標として取り組み、平成24年度については、6.1%削減し、当初の目標を達成することができました。

次表は、平成21年度と平成24年度のエネルギー使用量を比較したものです。

【表1】エネルギー使用量と温室効果ガス排出量

	単位	平成21年度公表値		平成24年度		CO <sub>2</sub> 排出量増減 対21年度比較	増減率(%) 対21年度比較
		使用量	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	使用量	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )		
二酸化炭素排出量			31,849,059.69		29,918,987.27	▲1,930,072.42	-6.06%
電気の使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出量	kWh	47,530,198.58	26,379,260.21	44,708,109.47	24,813,000.76	▲1,566,259.46	-5.94%
燃料使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出量			5,469,799.48		5,105,986.52	▲363,812.96	-6.65%
ガソリン(公用車以外)	ℓ	7,265.65	16,868.37	8,400.73	19,503.64	2,635.27	15.62%
ガソリン(公用車)	ℓ	239,531.41	556,110.49	221,891.80	515,157.32	▲40,953.18	-7.36%
灯油	ℓ	756,507.25	1,883,311.94	731,239.45	1,820,408.18	▲62,903.76	-3.34%
軽油(公用車以外)	ℓ	14,745.87	38,623.08	13,450.80	35,230.97	▲3,392.11	-8.78%
軽油(公用車)	ℓ	204,309.54	535,137.15	203,924.92	534,129.73	▲1,007.41	-0.19%
A重油	ℓ	305,077.80	826,647.96	234,003.90	634,063.99	▲192,583.97	-23.30%
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	90,283.63	539,344.56	75,591.21	451,573.65	▲87,770.92	-16.27%
都市ガス	m <sup>3</sup>	468,098.60	1,073,755.93	477,760.50	1,095,919.04	22,163.11	2.06%
メタンの排出に伴うCO <sub>2</sub> 換算量			1,014.73		1,055.83	41.10	4.05%
一酸化二窒素の排出に伴うCO <sub>2</sub> 換算量			27,336.51		28,322.77	986.26	3.61%
合計			31,877,410.93		29,948,365.88	▲1,929,045.05	-6.05%

※エネルギー使用量CO<sub>2</sub>排出量(キログラム)に換算

※メタン、一酸化二窒素は、車両の走行距離から算出

【表2】その他の取組結果

	単位	基準値① 平成21年度	目標値 平成24年度	実績値 平成24年度	増減率	達成状況
水道使用量	m <sup>3</sup>	435,230	①から削減	400,774	-7.9%	○
コピー用紙購入量	枚	16,971,500	①から10%以上削減	15,730,500	-7.3%	×
可燃ごみ排出量	kg	32,181	①から10%以上削減	17,162	-46.7%	○
印刷発注物の再生紙使用率	%	56.2	100%	92.1	-	×
事務用品のグリーン購入率	%	54.1	100%	96.3	-	×
低公害車の購入率	%	100	100%	100	-	○



主要施策

(2) 環境に配慮した事業活動の推進

(事業活動における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業 (担当課)

カ 環境マネジメントシステムに対する取組み意欲の向上 (環境政策課)

環境マネジメントシステムの継続的な改善を図りながら運用 (PDCA) に努めるとともに、ホームページや市報に掲載し、情報提供を行いました。

キ 環境マネジメントシステムの運用 (環境政策課)

平成20年11月に「ISO14001」を認証取得しました。

平成23年度に有効期間(3年)が経過したことから、引き続き認証を継続するため、外部審査登録機関の更新審査及び阿東総合支所を適用範囲に含める拡大審査を受け、無事審査に合格し、認証の継続・適用範囲の拡大を行いました。

平成24年度は、定期審査を受け、システムの運用が着実に継続されていることを確認しました。

今後も引き続き、市役所の全事務事業に係る環境への負荷を低減するため、システムの継続的な改善を図りながら、環境配慮の取組みを市民や事業者の皆様にも広げ、住みよいまちづくり、環境づくりに努めます。

《平成24年度取組み結果について (ISO適用範囲内)》

山口市環境マネジメントシステムにおいては、所属独自の環境目的・環境目標・実施計画を87件、共通の環境目的・環境目標・実施計画を11件設定 (下表: 達成状況) しました。



項目 (環境側面)	平成24年度環境目標	平成24年度取組み結果	達成状況
イベント開催時の環境配慮	環境配慮項目実施率 93%	環境配慮項目実施率 96.3%	○
公共工事における環境配慮	環境配慮項目実施率 97%	環境配慮項目実施率 100%	○
温室効果ガス排出量削減	平成21年度比 3.0%以上削減	平成21年度比 19.6%削減	○
電気の使用量削減	平成21年度比 3.0%以上削減	平成21年度比 19.5%削減	○
燃料 (ガソリン、軽油、灯油、A重油、LPG、LNG) の使用量削減	平成21年度比 3.0%以上削減	平成21年度比 ガソリン 17.5%減 灯油 6.7%減 軽油 8.5%減 A重油 31.0%減 LPG 52.3%減 LNG 30.8%減	○
水の使用量削減	平成21年度ベースから削減	平成21年度比 19.3%減	○
コピー用紙の使用量削減	平成21年度比 10%以上削減	平成21年度比 9.5%減	×
可燃ごみの排出量削減	平成21年度比 15%以上削減	平成21年度比 41.9%減	○
印刷物発注時の再生紙使用	再生紙使用率 100%	再生紙使用率 93.7%	×
グリーン購入	グリーン購入率 100%	グリーン購入率 97.9%	×
低公害車の導入	低公害車導入率 100%	低公害車導入率 100%	○

ク 公共施設における新エネルギーの導入 **重点プロジェクト**

【平成24年度の導入実績】

- ・太陽光発電システム導入件数：5件

〔 嘉川地域交流センター、名田島小学校  
大殿中学校、湯田中学校、阿知須中学校 〕

- ・バイオマス熱利用導入件数：1件（阿東図書館）



《嘉川地域交流センター》

《太陽光発電等を導入している公共施設一覧》

平成25年3月31日 現在

種別	施設名	導入内容
太陽光発電	仁保地域交流センター	10kW
	嘉川地域交流センター	10kW
	大内小学校（屋内運動場）	10kW
	井関小学校（校舎）	10kW、126W×2基
	佐山小学校（校舎）	10kW
	白石中学校（校舎）	10kW
	小郡中学校（校舎）	10kW×2基
	大殿中学校	10kW
	阿知須中学校	10kW
	湯田中学校	10kW
	名田島小学校	10kW
	島地温泉ふれあいセンター	5kW
	山口情報芸術センター（外灯）	13W×14基、18W×3基
	小郡図書館	10kW
	不燃物中間処理センター	28.4kW
	徳地総合支所（外灯）	43W×1灯
	中園町市営アパート（外灯）	171W×9基、9.7W×23基
	矢原市営アパートA棟、B棟（外灯）	171W×23基
	錦町市営アパートA棟、B棟（外灯）	171W×8基
	三和町第5市営アパートA棟（外灯）	171W×4基
	三和町第6市営アパートB棟（外灯）	171W×2基
	河原谷公園（時計）	3.6W 蓄電池容量 1Ah
	上東第2公園（時計）	0.45W 蓄電池容量 1.2Ah
	上矢原第1公園（時計）	22W 蓄電池容量 40Ah
	上矢原第2公園（時計）	0.45W 蓄電池容量 1.2Ah
	桜島公園	22W×3基 蓄電池容量 40Ah
	平成公園	40W×8基 蓄電池容量 42Ah
	河原公園（外灯）	23W×1灯
	折本公園（外灯）	23W×1灯
	氷上公園（外灯）	23W×1灯
	古曽児童公園（外灯）	23W×1灯
	稲葉児童公園（外灯）	23W×1灯
	茅野神田児童公園（外灯）	23W×1灯
	大塚公園（外灯）	23W×1灯
	小鯖1011公園（外灯）	23W×1灯
	大芝公園（外灯）	23W×1灯
赤坂公園（外灯）	43W×1灯	
坂東児童公園（外灯）	43W×1灯	
亀山公園（外灯）	43W×1灯、23W×1灯	
香山公園（時計、外灯）	43W×4灯、23W×1灯	

種別	施設名	導入内容	
太陽光発電	宮野三ノ宮公園（外灯）	43W×1灯	
	高田公園（外灯）	23W×2灯	
	大江公園（外灯）	43W×1灯	
	富田原公園（外灯）	43W×1灯	
	草山公園（外灯）	43W×1灯	
	上恋路公園（外灯）	43W×2灯	
	御堀公園（外灯）	23W×1灯	
	寺内公園（外灯）	23W×1灯	
	今市公園（外灯）	23W×1灯	
	高砂公園（外灯）	23W×2灯	
	坂東公園（外灯）	43W×1灯	
	木戸公園（外灯）	43W×2灯	
	花園公園（外灯）	43W×1灯	
	稲葉北公園（外灯）	43W×1灯	
	陶中央公園（外灯）	43W×2灯	
	緑公園（外灯）	23W×1灯	
	下市公園（外灯）	23W×1灯	
	東山公園（外灯）	23W×1灯	
	風力発電	井関小学校	300W×2基
	一般廃棄物発電	清掃工場	1,900kW
一般廃棄物焼却熱	清掃工場		
バイオマス燃料製造	小郡食用油リサイクルプラント	100ℓ/回 精製	
バイオマス熱利用	阿知須総合支所（木質ペレットボイラー）	空調（冷暖房）	
	徳地総合支所（木質ペレットストーブ）	1台	
	阿東総合支所（木質ペレットストーブ）	1台	
	阿東地域交流センター（木質ペレットストーブ）	1台	
	阿東地域交流センター篠生分館（木質ペレットストーブ）	1台	
	阿東地域交流センター（木質ペレットストーブ）	1台	
	阿東地域交流センター地福分館（木質ペレットストーブ）	1台	
	徳佐小学校（木質ペレットボイラー）	床暖房	
	徳佐小学校（木質ペレットストーブ）	15台	
	阿東図書館（木質ペレットボイラー）	1台	



《阿東図書館》

主要施策

(3) 環境負荷の少ないライフスタイルの推進

(家庭や学校における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業（担当課）

ケ 省エネナビ等を活用した理解促進（環境政策課）

各家庭での電気の無駄な使用をなくし、省エネ活動の促進を図るため、電気使用量を二酸化炭素排出量などに換算し、省エネ達成度を表示する機器「省エネナビ」の貸し出しを行い、モニターを募集しました。

- ・モニター期間 平成24年7月～平成24年12月
- ・募集対象者 市内在住の方で、自宅の分電盤に計測器を設置できる方
- ・募集者数：15人（1世帯につき1台）
- ・モニターの活動内容 データの測定、測定データ、環境家計簿及びアンケートの提出

項目 \ 年度	H22	H23	H24
省エネナビモニター人数（人）	7	14	15

コ 環境家計簿の取組みの推進（環境政策課） **重点プロジェクト**

エネルギー消費を二酸化炭素排出量に換算して計算することで、日常生活でどの程度の負荷を地球環境に与えているのかを知ることができる「環境家計簿」をイベントの際に温暖化とめるっちゃネットワークやまぐちと協働して配布しました。

また、平成22年度にエクセル版の環境家計簿を作成し、ホームページに掲載しました。

項目 \ 年度	H22	H23	H24
イベントを通じた配布数（部）	3,500	3,500	3,500

サ 家庭向け新エネルギーの普及促進（環境政策課） **重点プロジェクト**

住宅用太陽光発電設置費補助金の交付や申請状況、その他新エネルギーに関する情報提供を行いました。

項目 \ 年度	H22	H23	H24
補助金申請件数（件）	439	494	331
補助金交付額（千円）	15,950	18,152	12,287



シ 家庭における節電への取組みの推進（環境政策課）

市民の節電・省エネへの取組みを応援し、市域の温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的として、「節電コンテスト」を実施しました。

《「節電コンテスト」実施状況》

項目 \ 年度	H24 夏季	H24 冬季
期 間	7月～9月	12月～2月
目 標 値	前年同月比5%削減	前年同月比から削減
応募者数	8件	22件
達成者数	8件	17件

ス 建物緑化による省エネの推進（環境政策課）

ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物をネットなどに這わせ、窓から入り込む夏の強い日差しを遮って、室温の上昇を抑えてくれる自然のカーテン「緑のカーテン」を市内の公共施設に設置しました。

また、市報で募集した希望者149名の方にゴーヤの苗を配布し、さらに取組みの輪が広がるよう、家庭、事業者、学校を対象とした「緑のカーテンコンテスト」を開催しました。

緑のカーテンは、植物の葉の蒸散作用により涼しい風が流れ込み、エアコンの使用を減らすことができ、地球温暖化防止に有効であります。については、当カーテンを公共施設に積極的に設置するとともに、市民及び事業者向けに啓発及び促進していくこととしています。

《緑のカーテンの設置状況（公共施設）》

項目 \ 年度	H22	H23	H24
設置件数	82	107	104

《「緑のカーテンコンテスト」開催状況》

【申込数】 家庭部門：21点 / 事業所部門：9点 / 学校部門：9点

最優秀賞 各部門1点 / 優秀賞 各部門2点 / 特別賞 家庭部門1点、事業所部門1点



《宮野小学校》



主要施策

(4) 環境負荷の少ない自動車の利用促進  
(移動における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業 (担当課)

セ 環境負荷の少ない運転技術の普及啓発 (環境政策課) **重点プロジェクト**

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量削減を目指すため、環境負荷の低減に配慮した低燃費運転方法を体験・修得するとともに、受講者がそれぞれの家庭・職場・地域において普及啓発を図ることを目的として実施しました。

エコドライブを実践することで、平均20%の燃料削減(山口県トラック協会調べ)が実現できることから、JAF(日本自動車連盟)との共催で次のとおり実施しました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
講習会開催数(回)	4	3	2
参加人数(人)	53	51	26



ソ 廃食用油の利活用 (資源循環推進課) **重点プロジェクト**

平成16年12月から、家庭から使用済み天ぷら油を回収して、軽油の代替燃料(バイオディーゼル燃料)を精製し、ごみ収集車等に使用しています。

バイオディーゼル燃料(BDF)の使用は、二酸化炭素の排出量の削減、排気ガス中の黒煙が3分の1に減少、硫黄酸化物がほとんど発生しないなどの利点があります。

現在、BDFの用途に限られ、精製量が減少傾向にあることから、用途の拡大が必要となっています。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
精製量(ℓ)	9,858	7,192	7,362



タ 低公害車等の率先導入 (環境政策課)

「山口市地球温暖化防止行動計画」に基づき、公用車の買い替えの際には低公害車を購入することとしています。

また、電気自動車やハイブリッド自動車を優先的に使用することにより、ガソリン使用量の削減に努めています。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
低公害車購入率(%)	100	100	100



※電気自動車用急速充電器の設置 **H 2 4 主要施策**

道の駅「長門峡」に電気自動車用急速充電器及び太陽光発電式街灯(1基)を設置しました。

主要施策 (5) 自動車利用の抑制

具体的な施策・事業 (担当課)

チ コミュニティ交通の確保 (交通政策課)

地域の主体的な取組みにより、地域に合った公共交通の運行促進を図るため、コミュニティバスの運行や、地域組織主体によるコミュニティタクシーの運行支援、一般タクシーの共同利用(グループタクシー)におけるタクシー利用券の交付を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
コミュニティバス利用者数 (人)	1 7 1, 0 4 0	1 6 6, 4 8 1	1 4 6, 3 4 3
コミュニティタクシー利用者数 (人)	3 4, 3 0 0	3 3, 0 3 3	3 4, 5 3 1
グループタクシー利用申請者数 (人)	2 2 7	4 7 0	7 0 4
グループタクシー延べ利用者数 (人)	7 1 4	3, 9 3 8	6, 5 5 8



《小郡地域のコミタク「サルビア号」》

ツ 公共交通を支える意識づくり (交通政策課)

市民公共交通週間、市内一斉ノーマイカーデーを設定し、また、公共交通週間中にイベントを開催することで、公共交通利用の積極的な意識付けをする機会の充実を図りました。

また、平成25年1月から毎月第3金曜日を「山口市ノーマイカーデー」として設定し、ノーマイカー通勤の習慣化に取り組んでいます。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
市内一斉ノーマイカーデー参加事業所数	1 9 3	2 0 5	2 2 2
市内一斉ノーマイカーデー参加人数	3, 5 7 5	3, 6 1 5	2, 7 8 3
イベント参加者数	2, 1 0 0	3, 0 0 0	4, 0 0 0
山口市ノーマイカーデー登録事業所数	—	—	3 9
山口市ノーマイカーデー登録人数	—	—	6, 6 2 6

主要施策 (6) 森林資源の有効利用の促進

具体的な施策・事業 (担当課)

テ 市有林の適正管理 (農林政策課) **H 2 4 主要施策**

【再掲】 P 1 1 に掲載

## 基本施策② 地球環境問題への対応

### ◆ 進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
コミュニティ交通の年間延べ利用者数（コミュニティバス）【再掲】	人	H19	166,625	H23	166,481	H24	146,343	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数（累計）【再掲】	人	H19	—	H23	51(147)	H24	57(204)	↑	H24	180	H29	405

#### 【評価（数値目標の達成状況等）】

「コミュニティ交通年間延べ利用者数（コミュニティバス）」については、昨年度と比較すると減少しています。引き続き、目標を達成できるよう施策の検討・実施に取り組みます。

「エコドライブ講習会の受講者数（累計）」については、中間年度の数値目標を達成しました。今後も引き続き、最終年度の目標達成に向けて、更なる啓発に努めます。

#### 【主な取組状況（平成24年度）】

主要施策	(1) 酸性雨対策の推進
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 酸性雨の監視、情報収集・提供（環境衛生課） 資料編P66に掲載（平成24年度の酸性雨調査結果）	
イ 低公害車等の率先導入（環境政策課） 【再掲】P24に掲載	
ウ 公共交通を支える意識づくり（交通政策課） 【再掲】P25に掲載	